

下川商業高校 3年生が 議会見学に 来ました

令和4年12月7日



12月7日に下川商業高校3年生34名が議会モニターとして議会に訪れました。

議会に興味や関心を持つてもらうことを目的に一昨年からは「議会見学」として実施しています。

議場で事務局職員から議会内容の説明を一通り行い、過去の一般質問の動画を視聴した後、正副議長室や委員会室、議会応接室などの見学してもらいました。中には、議長席に座って写真を撮る生徒もおり、普段見ることのない室内の様子に興味津々の様子でした。

その後の意見交換は全議員の出席のもと、8名の生徒が質問席で質問をし、議員がそれぞれに答える形式で行いました。実施後の生徒からの感想では、「議会の仕事の内容を知ることができた」というのもあり、議員や議会をこれまでよりも身近に感じてもらえたのではないかと思っています。その他にも、これからの議会活動の参考となる

ようなたくさんのご意見をいただき、大変有意義な時間となりました。

次に、いただいた質問と答弁の一部を紹介いたします。

質問 ふるさと納税の目標額はどのようにして1億円なのですか。

答弁 返礼品の商品開発等に公金が投入されているので、収入目標を聞く必要があります。町長に質問した結果、その答えが1億円でした。

質問 なぜ視察調査をしているのですか。また、視察の場所が二セコ町と当別町なのはなぜなのでしょう。

答弁 そこでの取り組みによって住民が受けている恩恵など、先進的な事例の聞き取りや議員などとも情報交換し、反映していけるものがあるか考えるために調査しています。

場所としては、地球温暖化対策先進地の二セコ町と当別町を選びました。

質問 やりがいを感じるのとはどんな時ですか。

答弁 自分のスタイルでチームに貢献できたと思える時にやりがいを感じます。それが、町民の皆さんにも貢献できたということだと思っています。

質問 お給料はどれくらいですか。また、予算の適正額は誰が決めていきますか。

答弁 一般議員の月額報酬は17万5,000円です。全国平均の高卒初任給が17万円、大卒は20万円なので、安いか高いかの判断は皆さんにお任せします。予算は町長が提案し、それを議会が適正なのかどうかを審議し決定していきます。